

2026年6月1日

各位

会社名 株式会社 デンタス
代表者名 代表取締役社長 河野 恭佑
コード番号 (6174 TOKYO PRO Market)
問合せ先 取締役管理部長 大崎 隆
電話番号 088-657-3115

TOKYO PRO Marketへの上場目的の開示

当社は、株式会社東京証券取引所が公表した「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」に基づき、当社のTOKYO PRO Marketへの上場目的、及び上場後における実現状況について、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の事業概要および上場の背景

当社は、「義歯の生産プロセス革新と市場改革を推進し、歯科技工市場の未来を切り拓きます。」というビジョンのもと、歯科技工領域におけるデジタル化を牽引するリーディングカンパニーとなるべく創業当時より事業を展開してまいりました。そのような中で、歯科医療業界を取り巻く急速な技術革新（デジタル化）に対応し、競争優位性を確立するためには、透明性の高い経営基盤と機動的な資金調達手段の確保が不可欠であると判断し、2015年9月にTOKYO PRO Marketへ上場いたしました。



2. TOKYO PRO Marketへの上場目的と実現状況、今後の取組

当社は、成長に向けた速やかな資金調達を実現するとともに、事業規模の拡大とそれに伴うガバナンス体制の整備を段階的に進めるうえで、TOKYO PRO Marketが当社の成長ステージに最も適合した市場であると位置づけており、以下の目的で活用しております。

(1) 機動的な資本政策の実行による財務基盤の安定化および投資資金の確保

【実現状況】

上場直後に特定投資家私募による資金調達を実現するとともに、その後も第三者割当増資、主要取引先等に対するデット・エクイティ・スワップ（DES）、A種種類株式の発行などの資本政策を機動的に実施。過去の債務超過に対しても、自己資本の改善と有利子負債の圧縮による財務体質の再構築を実現しております。

【今後の取組】

現在当社においては、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりますが、今後は上場会社としての信用力の向上を図り、収益性を拡大すると共に新たなファイナンスの検討を実施、同時に借入金等その他の資金調達についても進めていくことにより当該状況の解消に努めてまいります。

(2) 上場企業としての社会的信用力・知名度の向上による事業領域の拡大（M&A・アライアンスの推進）

【実現状況】

①2021年にLBOスキームを用いたアイオニック株式会社（イオン歯ブラシを中心としたオーラルケア製品の製造販売）の子会社化に成功。予防歯科・オーラルケア領域という第二の収益の柱を獲得しました。



②2023年にはエキサイト株式会社との業務提携により、当社が保有する歯科技工物に対する知見とデジタル技術を活用したマウスピース矯正サービスを開始しております。



【今後の取組】

上記事業の収益拡大を図るとともに、主に歯科領域への進出拡大を目指し、新規ビジネスの構築とM&A・アライアンス等、様々な事業展開を模索してまいります。

(3) J-Adviserの継続指導を活用した適切なディスクロージャー・内部管理体制の構築

【実現状況】

J-Adviserの指導のもと、上場企業としての開示体制を構築・運用しております。また、取締役会のガバナンス機能についても上場を契機に強化してまいりました。

【今後の取組】

現在当社は小規模組織であり、内部管理体制も規模に応じたものになっております。今後は事業の拡大に伴い、より強固な内部統制の構築、IR・情報開示体制のさらなる充実等、会社規模に応じた適切な体制の構築に努めてまいります。

なお、本上場目的の実現状況に関する評価については、次回以降、毎連結会計年度において継続的に検証し、定期的に関示してまいります。

以上